

■ M7.6の大地震発生を想定した参加者約1万人の大規模避難訓練 ■

「関大防災 Day2015～広がれ！みんなの安全・安心！～」を実施 ～ 日本赤十字社による「防災講演会」や「応急手当体験会」も開催 ～

関西大学では11月13日（金）、総面積約35万㎡の広大な千里山キャンパスのほか3つのキャンパス（高槻・高槻ミューズ・堺）で、学生・教職員・近隣住民ら約1万人が参加する大規模な地震避難訓練を行います。

訓練では、授業中にマグニチュード7.6の「上町断層直下型地震」（震度6強以上）が発生したと想定。学生・教職員の避難から誘導、避難者の安否確認に至るまでを、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づき実施します。また緊急時は、学内外を問わず、全学生・教職員の状況を把握する必要があることから、携帯電話等のメール機能を活用する「緊急連絡メールシステム」を用いた安否確認も並行して行います。

本学では、学内における防犯・災害等への対策として、緊急時の連絡体制や危機管理マニュアルの整備、安全関係シンポジウム・講演会の開催、地元自治体・警察署・消防署との協力体制の確立など、「安全・安心」づくりに向けた諸活動を展開しています。また昨年7月には、日本赤十字社大阪府支部と全国初となる「防災教育・啓発パートナー協定」を締結しました。

この大規模地震避難訓練は今年で6回目を迎え、当日は避難訓練以外にも、日本赤十字社による防災講演会や応急手当体験会など、防災にかかわるさまざまなイベントをあわせて実施します。さらに、近隣連合自治会をはじめとする地域住民の方々と協同して炊出し訓練も実施。学内における災害発生時の避難体制を確立させるとともに、地域の中の大学としてその連携を強化し、地域防災力の向上を図ります。なお、千里山キャンパス以外の3つのキャンパスでも、規模に応じた訓練・防災イベントを同時に実施予定です。

つきましては、「関大防災 Day2015」に関しまして、取材のご検討をお願い申し上げます。

記

1 日時 11月13日（金）【報道受付 11:00～】

(1) 地震避難訓練 11:40～12:10

2 時限目の授業中、11:40に地震音を放送。授業担当者らは各避難場所まで学生を誘導し、安否確認シートを配布・回収。並行して、緊急連絡メールシステムを利用した安否確認を実施。

(2) 防災イベント 11:40～16:10（以下は千里山キャンパスでの実施内容）

- | | |
|------------------|-------------|
| ○ 防災講演会 | ○ 炊出し訓練・試食会 |
| ○ 防災啓発ブース | ○ 煙体験 |
| ○ 応急処置体験 | ○ 浸水時ドア開閉体験 |
| ○ 消火器使用・消火栓放水体験 | ○ 避難器具体験 |
| ○ 吹田市危機管理室の取組み紹介 | |

2 場所 関西大学千里山キャンパス（吹田市山手町3-3-35）ほか

3 参加者 本学学生・教職員および近隣住民約1万人



以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■「関大防災Day2015」開催概要

【地震避難訓練・安否確認訓練】

(千里山キャンパス・高槻キャンパス・高槻ミュージズキャンパス・堺キャンパス共通)

①地震避難訓練 (11:40~12:10)

2時限目の授業中、11:40に地震音を放送。その後、授業担当者等が各避難場所まで誘導。

②安否確認訓練 (11:50~終了まで)

避難場所において、安否確認シートにて学生の安否確認を行う。
並行して、緊急連絡メールシステムを利用した安否確認を行う。
これらの実施結果から、安否確認方法の有効性を検証する。



【防災イベント】(千里山キャンパス)

①防災講演会 (14:40~16:10) ※別紙参照

中川俊彬氏(日本赤十字社大阪府支部事業部事業課救護係長)による講演会『巨大地震への備え~大切な人のいのちを守る~』を実施。

②炊出し訓練・試食会 (12:00~配給実施終了まで) ※炊き出し開始は10:45~を予定

本学災害用備蓄品のサバイバルフーズを利用し、学生・教職員・近隣住民が協同で約2,000人分の炊出し訓練を実施。来場者に配給を行う。

③防災啓発ブース (12:00~15:30)

防災への関心を高め、防災意識を共有できるよう、多くの企業・団体に協力いただき、災害対策用品や保存食等を紹介(試食含む)するテントブース(約30張)を設置。大学・学生の取組みも紹介。



④煙体験 (12:00~15:00)

吹田西消防署の協力を得て、テントハウス内に人体に無害な煙を発生させ、火災発生時における煙の怖さと避難方法を体験することができる。

⑤応急処置体験 (13:00~16:00)

日本赤十字社の協力を得て、身近な道具(雑誌・ハンカチなど)を利用した応急処置の講習を実施。

⑥浸水時ドア開閉体験 (12:00~15:00)

実物大ドア模型を用いた浸水時避難体験。実際に浸水した場合、どのくらい水位が上がればドアを開けることができなくなるかを体験することができる。

⑦消火器使用・消火栓放水体験 (12:00~15:00)

消火器を使用しての消火訓練、屋外消火栓を使用しての放水訓練等、実際の消火作業の体験が可能。

⑧避難器具体験 (12:00~15:00)

避難器具を使用しての降下避難を体験することができる。

⑨吹田市危機管理室の取組み紹介 (12:00~15:30)

「吹田市地域防災総合訓練」等の行事パネル、100均ショップで揃う防災グッズの展示・紹介を行う。

